

帆船 日本丸／横浜市 海洋教室に親子で参加 ①

夏休みの貴重な思い出 参加者 15 人が帆船に宿泊

子どもたちの夏休みシーズン、7 月 27 日と 28 日の 2 日間、本組合が主催して、公益財団法人帆船日本丸記念財団に後援をいただき、帆船「日本丸」で海洋教室を開催した。「日本丸」は横浜みなとみらい 21 地区旧横浜船渠第 1 ドックに係留している国の重要文化財。海洋教室には小・中・高校生 9 人と保護者 6 人が参加し、夜は「日本丸」に親子で宿泊するなど、夏休みの貴重な思い出となった。

海洋教室の 1 日目

海洋教室初日の 13 時、帆船日本丸に隣接する日本丸メモリアルパーク研修所（訓練センター）内の教室に参加者が集合した。

開講式は、浦隆幸関東地方支部長のあいさつで始まり、続いて、帆船日本丸の村田信船長から「日本丸は国の重要文化財になっており、重要文化財で宿泊ができる体験学習は珍しい。暑さ対策やけがには気を付けて、楽しい海洋教室にしていきたい」とあいさつが述べられ、2 日間お世話になる日本丸の職員の皆さんの紹介が行われた。

開講式の後、関東地方支部の安藏巧在籍専従執行部員と松下翔馬在籍専従執行部員が講師として「船のおはなし」と題する講義を行った。内容は、船の種類や航海士・機関士の仕事内容についてクイズを織り交ぜるなど、子どもたちが船に興味を持てるよう工夫されており、子どもたちはもちろん、一緒に参加した保護者も熱心に耳を傾け、参加者からは▽機関士は家の家電も修理できるのか▽船内の部屋は一人部屋なのか▽船内生活で不便なことはないのかなどの質問が出され、講師が丁寧に説明した。

講義の後に日本丸へ移動して船内見学を行い、その後、訓練センターに戻り結索訓練（ロープワーク）を行った。結索訓練では、通常生活でも使える「もやい結び」や「本結び」などを学んだ。参加した子どもたちは慣れないロープの結び方に戸惑いながらも、日本丸の職員皆さんの丁寧な指導で全員が結び方をマスターした。

この日は、日本丸の船内に宿泊することになっていたため、ボンクメイキングや避難訓練の後、スタッフも含め全員で夕食を取った。それからチーム対抗輪投げ大会を行い、またナイトウォークではみなとみらいの夜景を楽しみ、最後にそれぞれの家族の部屋に分かれ、就寝した。

「海員だより」